

東中だより

発行／愛川町立愛川東中学校
住所／愛川町中津1400
電話／(046)285-0029
FAX／(046)286-7984
発行責任者／大泉 哲郎
発行日／平成31年3月25日

『平成30年度末によせて』

学校長 大泉 哲郎

3月11日の卒業式、在校生は心のこもった合唱を卒業生に贈り、卒業生は様々な方々への感謝の気持ちを込めて体育館中に美しい合唱を響き渡らせました。生徒、保護者、来賓の皆様、そして教員たちの目からは思わず涙がこぼれ、祝福する気持ちにあふれる、旅立ちの日にふさわしい感動的な式となりました。これまで支えてくださった皆様に、心より感謝を申し上げます。

一人一人に手渡した卒業証書は、9年間の義務教育の修了を意味します。それは、これから先、「学ぶ」事を自分の意志で選んでいく自由を手にしたことを意味します。だからこそ、自分たちが向かうべき方向性をしっかり意識に上らせなくてはなりません。

昨年10月、保護者や地域の皆様に、東中の生徒にいちばん大切にしてほしいこと、というアンケートをとらせていただきました。その時多かったのが「思いやり・優しさ」「誠実さ」「心身の強さ」でした。これらは愛川町の教育理念にも重なります。今年度、そんな「東中生にいちばん大切にしてほしいこと」を生徒たちが育てている姿をたくさん見る事ができました。体育大会の縦割りで、上級生が下級生のことを思いやり優しく接しながらも、全体を盛り上げようと全力かつ誠実に取り組む姿、体育大会が終わった後、勝敗にかかわらず色別に集まって涙する姿、修学旅行で思い出に残る旅にするために、毎日の反省を次の日に生かそうとお互いを思いやりながら行動し、朝も昼も夜も笑顔にあふれる姿、合唱コンクールで、ソプラノやアルトの美しく響く声、テナーの低く、太い声と、成長するにつれ際立つようになったそれぞれの個性を、心と心を通わせ合い、すばらしいハーモニーにまとめ上げる姿、どれも確かな成長を感じさせるものでした。

あと1ヶ月半ほどで、平成が終わり、新しい時代がやってきます。平成は災害の時代ともいわれ、8年前発生した東日本大震災を始め、多くの災害で尊い命が失われました。しかし、そこには、新たな希望も生まれました。災害が起きる度に、被災された方々を助けようと、日本、そして世界中から思いやりと優しさが届けられました。

これからの新しい時代を生きていく生徒たちには、思いやりの心、他者を思う優しさ、誠実さ、そして心身の強さを育て、新しい時代の新しい主役となって、活躍して行ってほしいと思います。そして、そのお手伝いを、学校として全力でとり組んでいきたいと思っています。



< 4月の主な行事 >

- 4月 5日(金) 始業式 入学式
- 8日(月) 対面式 部活動集会
- 9日(火) 身体視力 自転車通学オリテ
教育相談開始(～22日)
- 18日(木) 全国学力学習状況調査(3年)
専門委員会①

- 22日(月) 地区会
- 23日(火) 内科検診 専門委員会②
- 24日(水) 1年正式入部 公開授業 学級懇談会
PTA 総会 部活動保護者会
- 25日(木) 聴力検査
- 26日(金) 生活アンケート



「伝統が受け継がれるとき」

～3年生を送る会そして卒業式に～

卒業式担当 小池 和子



3月5日、3年生を送る会が行われました。2学年委員会が作成してくれた思い出写真を盛り込んだムービーと、在校生が『君と歩こう』を合唱する姿を見て、3年生は、後輩達のあたたかな思いを実感できたことでしょう。また、3年生の合唱『証』は、美しさと力強さに溢れ、東中の伝統を引き継いでほしいという強い思いが存分に伝わるものでした。全校生徒で互いに感謝の気持ちを分かち合える素晴らしい時間となりました。

そして、3月11日、たくさんの地域の方々、保護者の皆さまに見守られ、第59回となる卒業式が行われました。朝には大雨であったあの日、やがて午後には春の暖かな日差しが現れ、153名の卒業生は、それぞれ立派に卒業証書を手にすることができました。感謝の思いと未来への決意が伝えられた卒業生のことば、最後の合唱『桜色』での涙、式後の学級での感謝の言葉と笑顔、そのどれもが、未来への希望を感じさせるものでした。職員一同、生徒全員の幸せと新たな生活での活躍とを、心から願っています。



『春休みの生活について』

生徒指導担当：岡田 渉

本日より4月4日まで春休みとなります。春休みは、新年度に向けての心構えをつくる時間として有効に過ごして欲しいと思います。特に学習面では、学年が上がると学習の難易度も上がってきますので、1日の中で必ず学習する時間を作り、1年間の学習を振り返るようにしていきましょう。

そして、休業中は時間にも余裕がでてくるとは思いますが、インターネット等で時間を使いすぎることがないようにし、合わせて自分のスマホ等でのインターネットの利用について見直す機会として欲しいと思います。内閣府の平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査の結果では、中学生の1日の利用時間が163.9分であり、昨年度よりも15分伸びています。また調査によると趣味・娯楽にかける時間ももっとも長くなっています。気分転換等で利用することもあるかとは思いますが、自分が何に使っているかを再確認し、1日の中で使わない時間を作れるようにしたり、保護者と決めた利用のルールを確認しましょう。

また、連絡メールでもお伝えをしているところですが、近隣地区で不審者に関する情報も続いています。不審者に遭ったり、被害を受けましたら、すぐに警察への情報提供をお願いします。

最後に、春休み中は自転車に乗る機会も増えてくるとは思いますので、交通マナーを守り、事故なく元気な姿で新年度を迎えられるようにしましょう。



学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について

2/4に第4回、3/6に第5回の学校運営協議会が開かれました。今年度は学校教育目標づくりから協力していただき、たくさんの保護者、地域の方々の次年度の教育目標とそれに基づいた様々な教育活動の展開についてたくさんの意見が交わされました。学校内での活動にどう地域の方々に関わっていただくか。また地域の活動に東中生がどう関わっていくか。双方向の視点で学校と地域の関わり模索し、次年度からできることの準備を進めていきます。これからも、たくさんの地域の方々のご理解ご協力をお願いいたします。